

“幸せな帰町”復興・再生への道のり



遠藤町長

平成30年第4回広野町議会定例会が12月12日から13日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

9月15日、雨が降る中、JR広野駅および周辺にて、広野町環境美化推進協議会をはじめ、広野町婦人会、地元企業、JR東日本、町職員など多数の方の参加をいただき、駅構内や駅前広場の清掃・除草作業を実施しました。



駅前広場などの清掃・除草などを実施

9月6日に発生した北海道胆振（いぶり）東部地震に係る支援業務のため、北海道厚真町へ9月29日から10月3日までの5日間職員1人を派遣しました。東日本大震災および原子力災害直後から北海道経済産業局より災害復興現地対策職員として32人の職員の皆様に「尽力いただいた経緯があることから派遣したものです。併せて北海道庁に20万円の見舞金をお届けしました。10月11日告示、28日投票の日

程で、福島県知事選挙が執行されました。

選挙管理委員会では今回の選挙から震災前と同じように指定する投票所以外は投票ができないようにいたしました。広報・啓発を徹底したことから有権者の混乱はありませんでした。投票率は53・41パーセントとなりました。

11月12日、東京都北区長を訪問し職員の派遣に対してのお礼を申し述べました。

11月20日、寛仁親王妃信子殿下が福島県復興状況視察のため、ふたば未来学園高等学校をご訪問され、副議長およびふたば未来学園高等学校校長と共にお迎えしました。

復興企画課

9月16日、二ツ沼総合公園において、第4回目の広野スタイル事業を実施しました。フリースタイルモトクロスショーやスラックライン、子ども向け電動バイクの試乗、物販などを行い、約5000人のご来場をいただきました。

9月19日、二ツ沼総合公園のフラワーパークで広野町振興公社が取り組む国産バナナ栽培の定植式が広野町議会議長、技術指導を行う千葉県農業法人G Pファーム半田社長ご臨席のもの



たつの市と協定を締結

と執り行われました。9月27日、東日本国際大学において広野町、いわき市、檜葉町、東日本国際大学、いわき明星大、いわき短期大学、福島高专、いわき商工会議所の8機関が「福島浜通り復興創生キャンパスコンソーシアム」の構築と包括的な連携に関する協定式が執り行われました。産学官が連携し、復興と地方創生に取り組みます。9月29日、浪江町地域スポーツセンターにおいて「ふたばワールド2018 in なみえ」が開催され、約1万5千人のご来場をいただきました。10月5日、兵庫県たつの市山本実市長と「童謡の里づくりのまち」交流協定を締結しました。童謡誕生100年という節目の年を迎え、童謡の普及と世代を超えて歌い継がれることを目指し、取り組みます。

健康福祉課

9月27日、役場会議室において認知症サポーター養成講座を開催しました。町職員、社会福祉協議会職員、民生児童委員および町内企業在勤者32人を対象に、認知症への対応などについて説明を行いました。

10月6日、第16回ひろの健康ウォークを実施しました。福島県立医科大学 県民健康管理センター岡崎可奈子先生をお招きし、効果的なウォーキング方法の講習会を行い、その後コース毎にスタートしました。参加者約70人は、秋の景色を眺め、ウォーキングを楽しみました。



ひろの健康ウォーク

10月30日、隔年ごとに開催しております「広野町戦没者追悼式」を挙行し、「遺族並びにご来賓参列の下、戦没者のご冥福と恒久平和をお誓いしました。11月3日、ひろの秋祭りの一環として、広野町中央体育館に

おいて、健康まつりを開催しました。福島県医師会による健康相談や広野町食生活改善推進協議会による塩分控えめの出汁の試食などによる健康づくりの啓発と、放射線相談会についての展示を行いました。また、「笑いと健康」をテーマとした講演会、落語会を開催し、福島県立医科大学医学部主任教授大平哲也先生、柳亭こみち師匠の講演、落語を聴き、参加者約80人で、笑うことは健康に良いことを学びました。

こども家庭課

保育所や幼稚園に通っていない未就学児を対象とした「げんキッズ」を9月、10月、11月に各2回開催し、延べ34人の親子の参加がありました。11月20日には乳幼児健診を実施し、11人の参加がありました。また、助産師さんによるミニ講座「トツキトウカ事業」の第3回目を11月6日に開催しました。

10月6日、保育所においては、ご来賓、保護者の皆様にも競技に参加いただき、現在の保育所では最後となる運動会を開催しました。同月24日には、ふたば未来学園高等学校の生徒のご協力により、春に植えたサツマイモの収穫を行いました。

9月21日、児童館においては、老人クラブとの交流事業としてお月見会を開催し、月見団子作り挑戦しました。認定こども園の整備については、現在、本体の屋根・外壁工事が終了し、内装工事を行っており、外構工事にも着手しました。



開園に向け進む工事

なお、11月末現在の保育所、児童館の在籍数および今年度の出生者数は、保育所23人、児童館75人、出生者数18人です。

環境防災課

9月21日から9月30日までの「秋の全国交通安全運動」期間中、役場前国道6号交差点や駅前交差点において、双葉警察署および富岡地区交通安全協会広野分会のご協力をいただきながら、朝の通勤・通学時間帯に交通立哨を実施しました。運動初日の21日と28日には役場職員も

10月10日、兵庫県たつの市議会の議長、副議長が来庁され、広野町議会議長、副議長ご臨席のもと復興拠点である駅東、Jヴィレッジを視察され、交流を深めました。10月11日から14日まで、5回目となる国際フォーラムを開催し、延べ1050人の方にご来場いただきました。今回の国際フォーラムは、復興する過程で獲得した知識や経験から成る復興知をどのように発信していくかという点に重点を置き、議論しました。県内在住で県内から発信している著名な方をお招きし、ここ広野町からの発信継続の重要性について改めて認識しました。10月11日には、渡辺復興大臣が来訪され、医療費一部負担金などの免除措置、高速道路の無料措置の継続、見守りカメラの支援継続、東町地区産業団地への企業誘致などについて要望しました。10月12日、広野駅東側産業団地において、ビジネスホテル「ハタゴイン福島広野」の開業レセプションが吉野正芳衆議院議員はじめ、多くのご来賓の方々のご臨席のもと執り行われました。10月13日、第24回広野童謡まつりを開催し、延べ900人の方にご来場いただきました。今

を生きる子どもたちの健やかな成長と未来を託す子どもたちへの豊かな情操や創造性を育てていくまちとして、「童謡のまち」宣言をしました。10月14日、Jヴィレッジをスタート地点とした「夢をつなごう!!復興リレー2018」が広野町、檜葉町、いわき市で開催されました。かけっこ教室、スポーツ少年団、駅伝チームの総勢28人が広野町区間6・5キロメートルのトーチリレーに参加しました。10月20日、21日の2日間、中央体育館において今年で3回目となる公設商業施設「ひろのテラス」の大即売会を実施し、プレミアム付きひろの商品券が使えることから多くの町民の方にご来場いただきました。11月2日、渡辺復興大臣、磯崎原子力災害現地対策本部長に対し、広野町、田村市、南相馬市、川内村と4市町村合同で「医療費の一部負担金等の免除に対する財政支援の継続について」など5項目について要望活動を実施しました。11月7日、福島県議会県民連合議員による要望聴取会が実施され、瓜生信一郎会長に対し、議会議長との連名により「医療・介護・福祉体制の充実」他10項目について要望しました。